

第17回



# 時間学カフェ

日時：令和元年12月19日（木）13：30～

場所：時間学研究所 所長室

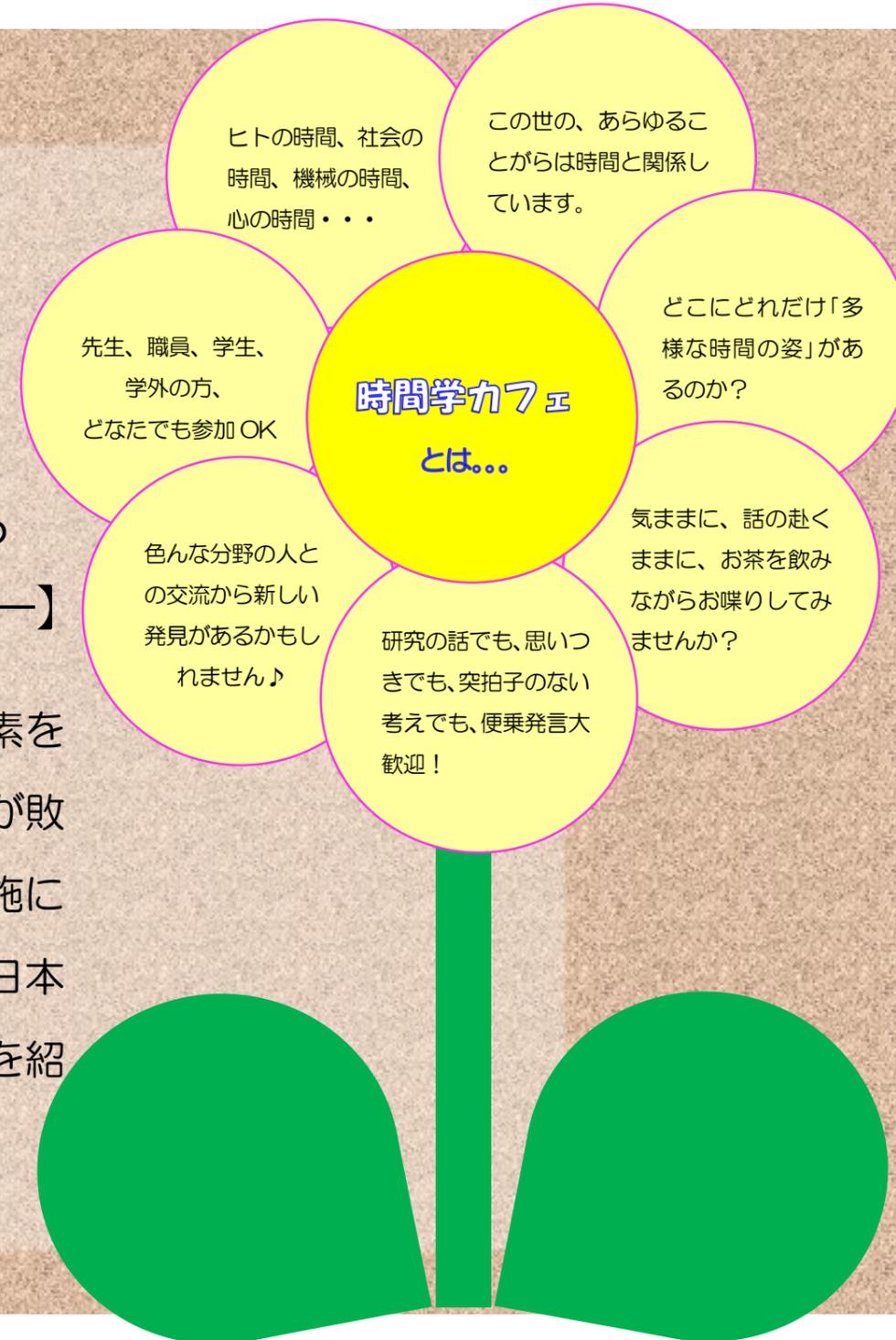
（吉田キャンパス総合研究棟 106）

話題提供者

兒玉 州平 先生（経済学部 経営管理講座・准教授）

【キャッチアップする時間を稼ぐ 一両大戦間期日本における  
ハーバーニボッシュ法の受容を事例に一】

20世紀初頭ドイツで開発されたハーバーニボッシュ法は、大気中の窒素を用いてアンモニアを合成する画期的な技術です。第一次世界大戦にドイツが敗れると、日本を含む戦勝国は同法特許権を没収しますが、日本は同法の実施に立ち遅れます。このままでは市場を輸入品に占有されてしまうのですが、日本がある方法で時間を稼ぎ、その間に技術的なキャッチアップを行った事例を紹介します。



お問合せ先

時間学研究所事務室

TEL：083-933-5848 MAIL：sh076@yamaguchi-u.ac.jp